

発 言 通 告 書

令和3年9月9日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 吉 富 健 一

次のとおり通告します。

発言順位	2	受領日時	9月 9日 午前 8時 30分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	コロナ禍における本市職員のテレワーク推進について	(1)出勤者削減に向けての取組と現状について
		(2)本市職員の一層のテレワーク推進について
		①テレワークの実人数は何人か。
		②実人数を増やす必要があるのではないかと、見解を問う。
		(3)テレワークで実施可能な業務の選別について
		①テレワークで実施可能な業務の選別はどの程度できているのか。また、その内訳はどのようになっているのか。
2	新型コロナウイルス感染症対策について	(1)本市職員への黙食の勧めについて
		(2)市内飲食店などへの黙食の啓発・普及について
		(3)新型コロナワクチンの夜間接種窓口の開設について
		①夜間接種の窓口を早急に開設すべきではないかと、②予約不要で接種できる機会を設けるべきではないかと。
3	1年半のコロナ禍における高齢者福祉について	(1)DV、認知症、筋力の低下など社会的孤立が影響している諸課題について
		(2)コロナ禍における地域団体などの役割について
		①新型コロナワクチン接種の推進において、地域包括支援センターや民生委員、地域団体や各種事業所などはどのような役割を果たしたのか。
		②社会的孤立の防止に携わる、民生委員やまちづくり協議会などの地域団体などへの支援について問う。

